

第10回 いがまち地区中学校区再編検討協議会事項書

日時:令和8年6月29日(月) 19:00～
場所:西柘植地区市民センター 小ホール

1. あいさつ

2. 協議事項

(1) 校歌の歌詞について【資料 1-1、1-2】

(2) 校章の最終選定について【資料 2-1, 2-2, 2-3】

3. 報告事項

(1) 霊峰中学校校舎改修工事について【資料3】

4. その他

■今後の開催日について

- ・第11回検討協議会 7月 22日 (水) 19時から
- ・第12回検討協議会 8月 5日 (水) 19時から

いがまち地区中学校区再編検討協議会 委員

		所属	名前	第10回 出欠	備考
1	第1号 委員	柘植小学校長	松本 徹	○	
2		西柘植小学校長	隠岐 徹	○	
3		壬生野小学校長	稲森 文一	○	
4		柘植中学校長	澤 健史	○	
5		霊峰中学校長	若山 公治	○	
6	第2号 委員	柘植小学校児童 保護者	内田 順子	○	
7		西柘植小学校児童 保護者	山本 敦	○	
8		壬生野小学校児童 保護者	市末 陽介	○	
9		柘植中学校生徒 保護者	松浦 浩正	○	
10		霊峰中学校生徒 保護者	服部 将典	×	
11	第3号 委員	柘植地域まちづくり協議会	宮田 隆司	○	副会長
12		西柘植地域まちづくり協議会	奥澤 重久	○	会長
13		壬生野地域まちづくり協議会	内山 保和	○	副会長

		所属	役職	氏名
1	事務局	伊賀市教育委員会	教育長	澤田 剛
2			事務局長	福岡 香穂
3			事務局次長	中 映人
4			学校教育課長	太田 健二
5			教育施設課長	中釜 悟
6			教育総務課長	藤田 成充
7			教育総務課	岡田 慎司
8			教育総務課	日之裏 治子
9			教育総務課	若林 和樹
10			教育施設課	坂元 重信
11			教育施設課	中岡 沙智代
12			教育施設課	岡村 祐希

(仮称)霊山中学校 校歌の歌詞について

【A】

1. 歌詞作成の意図と方向性

多様性の時代、だれもが「歌いやすい」「わかりやすい」「覚えやすい」と感じ、口ずさんでもらえる歌詞とメロディをつくりたい。

皆様からいただいた言葉を歌詞に取り入れながら、芭蕉生誕の地であり俳句に親しむ土地柄、5文字と7文字に魂を込めて、シンプルかつ奥深く、伊賀の光景が目に浮かぶような校歌となることを意図している。

2. 歌詞

- 1)

あさ	ひかり	て
朝	の光に	照らされて
れいざんあお	とも	い
霊山	仰ぎ	友と行く
りそう	たか	かおあ
理想は高く	顔	上げて
れいざんちゅうがっこう	まな	や
霊山中学校	学	び舎よ
- 2)

あさぎり	は	にじ	で
朝霧	晴れて	虹が	出て
つげ	がわきよ		
柘植川	清く	たゆまなく	
ゆめ	おお	は	
夢は大きく	羽	ばたいて	
れいざんちゅうがっこう	わ	こころ	
霊山中学校	我	が心	
- 3)

	あい	あたた		
ふるさと	愛し	暖かし		
か	すがた	いま		
変わらぬ	姿	今もなお		
い	が	だい	ち	ふ
伊賀の大地	を	踏	みしめて	
れいざんちゅうがっこう				
霊山中学校	いつまでも			

3. 解説(詳細)

- 1 番の歌詞は、霊山中学校にフレッシュな気持ちで生き生きと通学する希望に満ちた中学生をイメージした。どの地域からでも拝むことのできる霊山は、象徴的な美しい山である。霊山を見上げていつも顔を上げて、前向きに明るく中学生生活を送ってほしいという願いを込めた。

- 2 番の歌詞は、どんな困難な時にもきっと霧は晴れて虹は出る、というメッセージを込めて、思春期の悩み多き日々も、柘植川が清らかに悠々と流れるさまのように、たゆまぬ努力で夢を持ち続けてほしいという思いで書いた。
「朝霧」は秋の季語であり、霧は芭蕉の句にも何句か使われている。
私は母校・霊峰中学校で過ごした日々が現在の私の心をつくってくれた原点であると感謝している。霊山中学校で過ごす日々が生徒の皆様にとってこれからの人生を支える力強い土台となるよう、そして霊山中学校がいつでも帰っていける場所であることを願う。

- 3 番の歌詞は、柘植中学校と霊峰中学校の卒業生皆様のお気持ちや、地元に残って地域を支えてくださる方々を思い浮かべて書いた。そして、ふるさとを離れて暮らす人々にとっても、ふるとは愛しい、そしてあたたかな場所である。
「ずっと霊山中学校が続いていきますように、美しいふるさが変わらず、中学生の皆様も地域の皆様と共に元気に発展していきますように」と切なる願いを込めて書いた。
「暖かし」は春の季語でもある。「あたたかし」と平仮名にしても良いかと思う。

【B】

1. 歌詞の作成の意図と方向性

5月のワークショップ等で皆様から集めさせていただいた言葉をなるべく多く使わせていただくことを意識して作詞した。

従来の古典的な校歌の様式を踏まえつつも、歌っていて楽しく、元気が出るような曲になるように、前向きで希望に満ちた歌詞とメロディを意図している。

2. 歌詞

- 1)

あさ ひかり かがや れいざん
朝の光に 輝く霊山
さあ かお あ いまあゆ だ
さあ 顔を上げて 今歩み出す
えいえん つづ さと みち いただ め ざ すす
永遠に続く 里の道 頂き目指し 進んでゆこう
は みらい と た やまこ
羽ばたけ 未来へ 飛び立て 山越え
いつも わす われ まな や
いつも忘れない 我らの学び舎
- 2)

あめかぜ ひ つ げ がわきよ
雨風の日も 柘植川清く
い が だいち ふ い
伊賀の大地を 踏みしめ生きる
ほし ふ よる とちか ゆめ おお こころ つよ
星降る夜に 友と誓い 夢は大きく 心は強く
つた おも れ きし
伝われ この想い つながれ この歴史
いつも まも やま かみがみ
いつも守られる 山の神々
- 3)

あさぎり は ひかり あ
朝霧晴れて 光を浴びる
ひろ そら おも たか
広がる空に 想いは高く
か か
変わらぬことと 変えてゆくこと どんなときにも ゆうき えがお
先生 ありがとう 友よ ありがとう
いつも こころ れいざんちゅうがっこう
いつも心に 霊山中学校

3. 解説(詳細)

- 1 番の歌詞では霊山中学校の生徒たちがフレッシュな気持ちで希望に満ちて躍進する姿をイメージして書いた。集めさせていただいた中学生の言葉や大人の方々の言葉を織り交ぜて作詞した。

- 2 番の歌詞では中学生生活の揺れ動く思春期の頃も、悩みながらも仲間と共に、伊賀の自然と伝統や人々の温かさに包まれて成長していったほしいという願いを書いた。生徒の皆様から地元の神社の名称がいくつか挙がっていたので「山の神々」と入れた。

- 3 番の歌詞はこれから霊山中学校を巣立った後もずっと学校での学びを大切に、先生や仲間、故郷に感謝の気持ちで忘れずに進んでいってほしいという思いで、あえて「ありがとう」という感謝の言葉を入れた。
時代の変化が目まぐるしい昨今、良き伝統は守り抜き、変えるべきことは勇気をもって変えていくことも大切かと思い、自然と共に生きる素朴な暮らしの中で、思いは高く、理想をもって！と応援するつもりで書いた。

- 私自身がふるさとの良き環境に育てられたことに感謝の念でいっぱい「ふるさとや母校が誇らしい」と、どこに住んでいても、いつもそう思って生きてきたので、歌詞とメロディをつくっているうちに、母校の色々な思い出がよみがえり、ふるさとへの思いがあふれ出た。霊山中学校の未来を願う気持ちで書いた。

【C】

1. 歌詞の作成の意図と方向性

生徒自身が己の生き方を律し、どのように進むべきかを自認できるよう導く言葉と言い回しに主眼を置いた「(中学生の)自立」への方向性と、地域やそこに住む人々、先輩たちから「どのようになって(生きて)ほしいか」という期待とエールを送る「応援と訓示」的な方向性を持たせる意図で作成している。

2. 歌詞

- 1) ^{みどりふか れいざん いだ}
緑深き霊山に 抱かれし
^{はげ まな や なが みち きずな むす}
ともに励む学び舎は 長き道の絆を結ぶ
^{り そうたか み し んり ひかり}
理想高く 見つめよ 真理の光 *
- ^{つよ い}
強く生きる たゆまず
- 2) ^{なが つ げ がわ こころうつ}
たえまぬ流れ柘植川に 心映し
^{つな ゆうじょう うつく みらい ちか}
ともに繋ぐ友情は 美しき未来への誓い
^{ほこ たか へい わ の}
誇り高く はぐくむ 平和の実り
^{きよ い}
清く生きる たゆまず
- 3) ^{かすがやま ばしょうづか}
春日山、芭蕉塚、
^{ゆた だい ち めぐ}
ふるさとは 豊かな大地の巡り
^{か すがた いま}
変わらぬ姿 今もなお
^{かお あ わこうど}
顔を上げて はばたけ 若人たちよ
^{あつ い}
熱く生きよ たゆまず

* 別の言い回し候補あり（④問題点の項を参照）

3. 解説(詳細)

- 1番の歌詞は、「緑深き」は自然豊かな(霊山)を意図。「緑映ゆる」でも良いかと思っている。
柘植地域(いが町)を見守るように聳える霊山の麓にある中学校は霊山に「抱かれる」と表現した。また、その学び舎は将来にわたっての(仲間の)絆を結ぶ場所とした。
「絆を結ぶ」:互いを認め合い、裏切らない結びつきを表現。
「理想高く」:現状に甘えず、常に向上心を持つという意識を「実際に声に出す(歌う)」ことで生徒自身が認識するために入れた。
「真理の光」:真理という言葉は以前の校歌にも入っているが、「光」に結びつけることには少し躊躇している。(前校歌詞は「真理の芽生え」)何か良い言葉はないか。
「強く生きる」:声に出す(歌う)ことで生徒ら自身が「自分を強く持って生きる」という決意表明をするか如きの語調にしている。

- 2番の歌詞は、霊山に続いて多くの票が入った「柘植川」を採り、濁りのない水の流れて己を映し、自身を律するという意図がある。
「友情」は古風な語調ではないが、現代に生み出される校歌ということでわかりやすい言葉として入れた。友情＝仲間への思いやりや助け合いが自分自身の未来を明るく(美しく)する、という意図がある。「明るい未来」としても良かったが、メロディーに乗せた時に少し軽薄になってしまいそうだったことと、「美しい」というワードが挙がってきていたので「美しい」を採用。
「平和」:以前の校歌に入っているワード。世界に戦乱や混乱が続く現代だからこそ、意識してほしい言葉として入れた。
「清く生きる」:嘘をつかない、人を貶めないなど、自身を律する生き方を「声に出す(歌う)」ことによって宣言し、「自分に言い聞かせる」という意図がある。

- 3番の歌詞は、春日山、芭蕉塚(芭蕉)も票数の多いワードであり、両校校区の象徴として採用。
「豊かな大地」:美味しいお米や産物がある、ということを示し、「巡り」は季節の巡りの他に「連綿と受け継がれる歴史」を意図している。大地＝農産物&歴史を包括した。
「変わらぬ姿 今もなお」:思春期を過ごすこの地の歴史を感じてもらう意図がある。
「顔を上げて」:柘植中校歌で印象的な「眉上げて」を連想させる言葉として採用。
スマホ時代に生きる我々にも通じるが、下(スマホの画面)ばかり見ないで顔を上げて広い視野を持ち、広い世界に向かって「羽ばたいて」ほしい、と願う「大人たち＝地域の人々、先生、先輩(卒業生)」らの思いを現役中学生に伝えるために「若人たちよ」「生きよ」という呼びかけと命令形を使い、ふるさと(の人々)が彼らにエールを送っているという体裁にしている。(人とのつながり、地域とのつながり、多くの人に支えられてい

るということを意識できる)

● 1～3番共通

「たゆまず」：学生の本分である勉強だけでなく、様々なことに努め励み、常に自分を高め磨いてゆく生き方を示す言葉として訓示的な意味を込めて最後に置いた。

4. 問題点

「真理の光」が良い言葉ではない。一見すると宗教的なフレーズに感じられるため、ここは再考の余地がある。

***別候補＝「求めよ、真理の泉」(もとめよ、しんりのいずみ)**

その他、「朝霧」「霧」「里」「友」というワードを入れたかったが、集約時には採用したいという意向がある。

5. 備考1

この歌詞は両校の歴史を踏まえ、格調を重んじ敢えて古典的な言い回しを選んだ。

これは現役中学生には少し堅苦しい言葉や言い回しに感じるかも知れないが、卒業後、大人になって歌っても違和感がないようにしたいと考えているためである。

また、声に出す(歌う)ことでこれまでの人々が繋いできた日本語の語感を認識してほしい、という意図がある。

中学生にとっては難しい言葉や意味が分からない言葉であっても、勉強を重ね年齢を重ねると理解できるものと思い、校歌も「国語の学習の一貫」という位置付けを意図している。

また、これに付すメロディーは正調古典的な校歌だけではなくリズム形態をアレンジすることで現代風(ポップス風)にもなるように考えており、同じ歌詞ではありながらバージョン2としてリズムや音感が敏感な現役生徒たちにより親しみを持ってもらえるような形を提示できる素地を持っている。文化祭など生徒主体の行事などの折に現代風バージョンをテーマソングのように歌っても良いかとも考える。

6. 備考2

ワード収集において集まった多くのワードは校歌の歌詞から漏れ落ちてしまうことは必定であるが、特に生徒たちが書いた現代っ子ならではのワードについては、「応援歌」や「スクールソング」として生徒たちが楽しく歌えるような楽曲を別途作成して、ワークショップの成果として提供しても良いのではないかと考えているがどうであろう。

【D】

1. 歌詞作成の意図と方向性

ワークショップで出たワードをできる限り多く採用し、関わった方々の総意を目指し、「皆で作る校歌」という方向性を持たせるとともに、音楽学習の一環としての役割を果たす方向性を持たせて作成している。

2. 歌詞

- 1)

みどり	も	だい	ち	ふ		
緑	萌	える	大地	を踏	みしめ	て
つど	まな	や	あか	み	らい	あゆ
集	う	学	び	舎	明	るく
					未	来へ
					歩	みだ
					す	
きず	な	す	ず			
絆	つ	な	い	で	進	め
ゆう	じょう	はく	れい	ざん	ちゅう	がっこう
友	情	育	も	う	霊	山
					中	学
					校	
- 2)

おも		つ	げ	が	わ	な	が
想	い	の	せ	て	柘	植	川
					流	れ	ゆ
					く		
た	な	し	ら	ふ	じ	ほ	こ
絶	え	ぬ	流	れ	の	白	藤
					誇	れ	る
					芭	蕉	塚
れ	き	し	つ	む	ひ	ら	
歴	史	紡	い	で	拓	け	
な	か	ま			れい	ざん	ちゅう
仲	間	と	つ	な	が	ろ	う
					霊	山	中
					学	校	
- 3)

そ	ら	ひ	ろ	い	が	い	だ
空	は	広	く	伊	賀	を	抱
					き	し	め
の	ぞ	た	か	ゆ	た	あ	す
望	み	高	く	豊	か	に	明
					日	を	照
					ら	し	て
					る		
き	ほ	う		め	ざ		
希	望	つ	か	ん	で	目	指
					せ		
ゆ	さ	き	か	が	や	れい	ざん
行	く	先	輝	く	霊	山	中
					学	校	

3. 解説(詳細)

- 1番の歌詞は、1年を通して「緑」の自然の色を見ることが多い地域を歌う。「緑」という言葉はキーワードの中から採用した。旧柘植中学校区、旧霊峰中学校区の広範囲にわたる地区から集い合う生徒の姿を連想した。「未来へ歩み出す」は生徒の姿と、新しく歴史を刻む霊山中学校を歌う。3年間の学校生活や学習を通して醸成されゆく友情をイメージした。
- 2番の歌詞は、ワークショップで「柘植川は、2つの地域をまたいで共通して流れている」という、地域の方の言葉が印象的であった。また、2つの旧中学校で歌われるそれぞれの自然の様子や、歴史を採用して欲しいという意図が、キーワードの多さから感じ取った。2番は伝統を引き継いだり、自然への畏敬の念を考えたりする生徒と、生徒自身もそれぞれの人生を紡いでいく意味を込めた。またその人生を紡ぐ中には、学校区の先輩方、保護者の姿も示唆している。
- 3番の歌詞は、未来、将来、夢、希望…卒業後も輝き続けて欲しいというメッセージを込めようと考えた。「空は広く」と視線を上げ、将来を目指す姿を連想した。加えて、霊山中中学校区のみならず、更に視野を広く巣立って欲しいという願いも込めた。学びを修めて新たな道を進んでいく生徒の姿をイメージした。
- 全体を通して、できる限りワークショップで出していただいたキーワードを採用するようにした。校歌という学校のシンボルになる歌に対する歌詞であるため、現代の言葉や、流行の言い回しを使うことはあえて避けた。ワークショップを行ったが在校生だけではなく、地域の方の想いや、これまでの歴史も踏まえて作るべきと考えたからである。また、日本語の持つ語感やリズム、発音の美しさ(難しさ)も、学習を通して考えてもらえると嬉しいと考えた。メロディーに関しては「ド」から始まり、8分音符、4分音符、2分音符を中心としたリズムを用いた。読譜学習の困難さが、昨今の音楽科教育の中で危惧されている。この校歌の学習から「校歌の始まりの音がド」というように、読譜学習に展開できることも考えた。また、使用リズムをシンプルなものにすることで、歌唱活動における「音価に伴った発声」を習得することも狙いとした。のびのびと歌うことができる校歌をイメージして作曲した。

現在の校歌歌詞

柘植中学校

大木 惇夫 作詞

山田 耕筈 作曲

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. | 2. | 3. |
| 霊山はみどりの望み | 芭蕉塚 幸ある誇り | 柘植川は絶えせぬ清め |
| わが学び舎のたのしさや | わがふるさとのゆかしさや | わがはらからのすがしさや |
| 努めはげみて ああわれら | 心つくして ああわれら | 徳をみがきて ああわれら |
| 培はん 真理の芽生え | 愛しまん 文化の花を | 刈り入れん 平和の実り |
| 眉あげて あこがるるあこ | 眉あげて あこがるるあこ | 眉あげて あこがるるあこ |
| がるる | がるる | がるる |
| 光の種子よ わか草よ | つつじの春よ 鶯よ | 日の葉の秋よ 涼風よ |

霊峰中学校

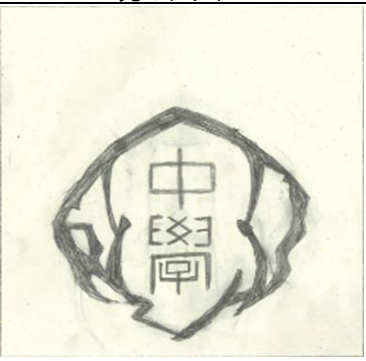
校 歌

作詞 中森 信次
作曲 内田るり子

- 一 そびゆる姿 霊峰の 雲もなく
みどりうるわし 一筋に
理想は高し たくましく
のびよう清く 若草よ
明るい花よ
- 二 梢は寒き 雪よべど
かわらぬ姿 柘植川の
健児の心 朝ぼらけ
のびよう清く たくましく
文化の花よ もゆる香よ
- 三 大地を強く ふみしめて
ゆるがぬ姿 学び舎の
歴史を語る 春日山
のびよう清く たくましく
希望の花よ 虹の輪よ

1968年2月13日制定

(仮称)霊山中学校 校章デザイン最終候補作品一覧

No.	作品No.	元のデザイン	改版のデザイン	思いや意味
1	15			柘植中学校と霊峰中学校のどちらからも見ることの霊山をイメージとしたとがっている頂上を描きました。下は霊山中学校の文字をとってR.Z.J.H.Sを組み合わせてつくりました。方に柘植中学校の校章にある平等という意味のおしべとめしべを入れました。みんなが平等で霊山のように堂々とした中学校なのでこのようにしました。
2	32			僕は小学校のとき、霊山に登ったことがあって、頂上から見た景色が緑豊かで山と緑を入れて書きました。
3	44			この校章は、霊山の自然を表す緑の山を背景に、中央のピンクの形で生徒一人一人の個性と成長を表しています。重なり合う形は仲間との協力や支え合いを意味し、中央の「RZ」は霊山中学校の頭文字で誇りと団結を象徴しています。自然の中で学び、未来へ力強く羽ばたく学校を表した校章でかきました。
4	67			霊峰中卒業生の一人として、新しい未来に向けて歩むいがまち三地域の中学生のみなさんにエールを送る気持ちで創りました。霊山の稜線のイメージと山の緑、その下に柘植川が流れ(上流・東)から柘植、中央が西柘植、右が壬生野を表しています。囲んでいる三重丸も柘植・西柘植・壬生野の三地域を表しています。
5	70			「中」の字の上は霊山をイメージしており、どっしりと構える山の姿は、揺るぎない意思とたくましい精神力を象徴している。下部の「柘の葉」は、大地にしっかり根を張る姿をイメージし、基礎的な力を養うこと表している。両サイドの「翼」は、未来へ向かって飛躍するエネルギーを表現し、霊山中学校の躍進の願いも込めた。上部は「一番星」をモチーフとし、生徒一人ひとりが持つ可能性の輝きと、明るい未来を象徴している。

No.	作品No.	デザイン	改版のデザイン	思いや意味
6	84			真ん中には山があり霊山をイメージした山を書きました。外側の線は「霊」という字を書きました。この校章のように霊山に囲まれながら、学校生活を送りたいという願いが込められています。
7	97			霊山をバックに旧阿山郡の花、現伊賀市の市花でもあるササユリを取り入れ、旧伊賀町の町鳥であった小鳥(メジロ)をアクセントにしました。 文字フォントはGoogleフォントを使用し商用利用可能です。 各パーツは別々で描いたためタッチが揃っていない点があります。描き直し前提です。
8	98			地域の象徴である霊山の造形をベースに、仲間の輪のなかで皆が学び合いながら未来へ進む姿を表現しました。円は調和とつながりを、山は学びの場としての基盤と地域性を示し、そこから伸びる一本の線は静寂でありつつ強さのある意志を持った高みを目指す姿を象徴しています。伝統を受け継ぎながら新しい時代へ歩み続ける学校の姿という想いをこのデザインに込めました。
9	100			山は地域に見守られた学びの場と揺るがない基盤を表現しています。その上に広がる人々の形は、仲間とのつながりや共感を象徴し、支え合いながら未来へ向かう姿を示しています。自然と人が調和する環境の中で、学生たちが未来へ成長していく学校の姿であってほしいという願いを込めました。
10	109			霊峰中学校と柘植中学校は共に霊山を仰ぎ見、麓を流れる柘植川の清流に遊び、癒されるイメージをデザインしました。 霊山には緑あふれるグリーン、柘植川には清涼なブルーで着色し、校旗などにも使用出来るように配色しました。

市内の小中学校 校章一覧

【小学校】

青山小学校 	阿山小学校 	上野北小学校 
上野西小学校 	上野東小学校 	上野南小学校 
大山田小学校 	久米小学校 	島ヶ原小学校 
成和西小学校 	成和東小学校 	柘植小学校 

友生小学校	中瀬小学校	西柘植小学校
		
府中小学校	壬生野小学校	三訪小学校
		

【中学校】

青山中学校	阿山中学校	上野南中学校
		
大山田中学校	島ヶ原中学校	城東中学校
		

崇広中学校



柘植中学校



緑ヶ丘中学校



霊峰中学校



【資料2－3】

【同じ中学校名を有する学校の校章確認について】

- 名 称 ；伊達市立霊山中学校(リョウゼンチュウガッコウ)
- 所在地：福島県伊達市霊山町掛田字下川原30

校章

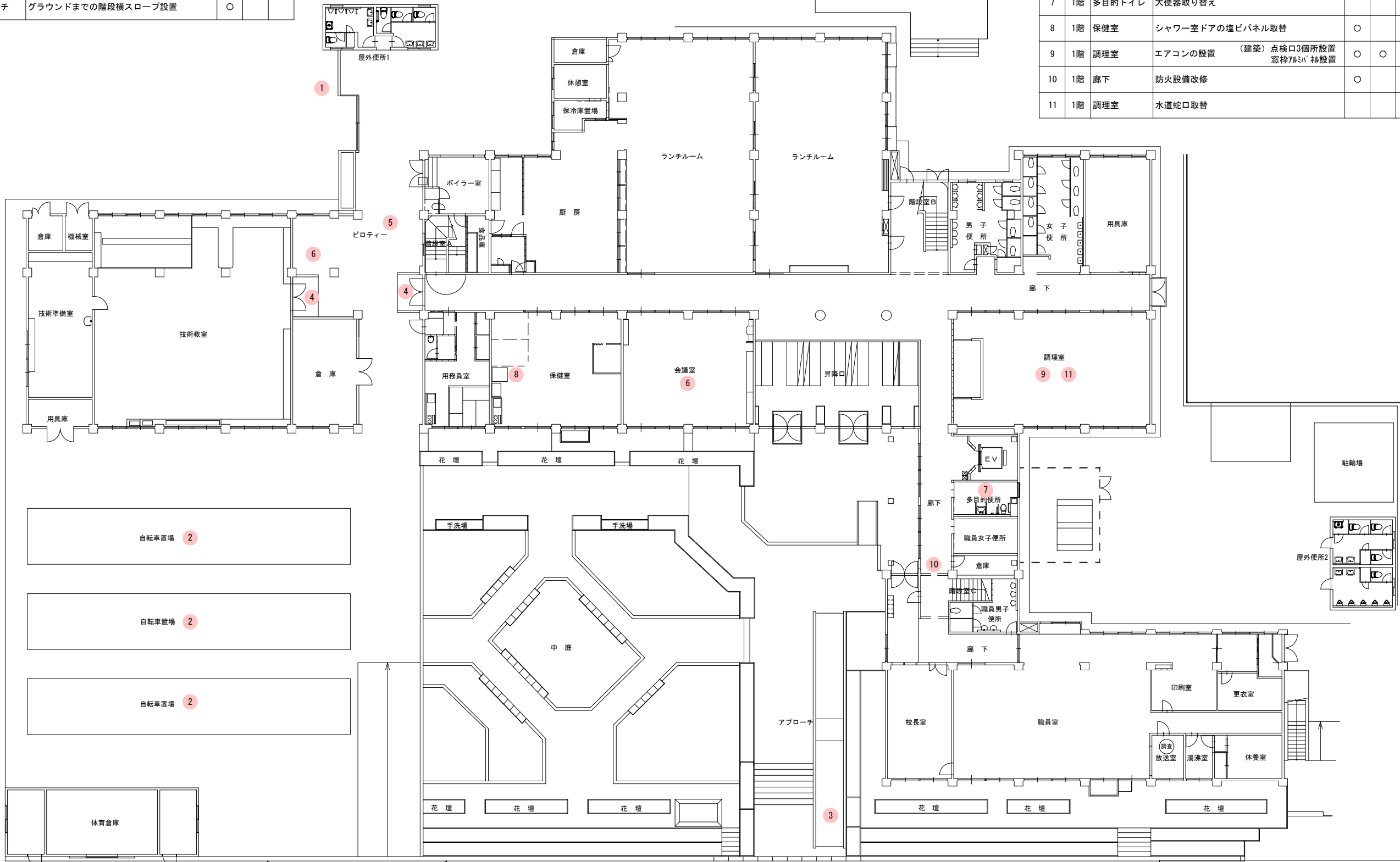
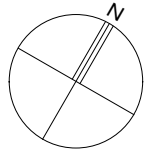


計 画 工 程 表

令和8年度 霊峰中学校・柘植中学校統合改修工事(建築主体工事)										工期		令和8年6月15日		令和8年11月13日																
名 称・工 種	施 工 箇 所	月 日	6月				7月				8月				9月				10月				11月							
			15	20	30	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	13		
共通仮設工事		100																												
仮設工事																														
保健室改修工事 調理室改修工事	校舎棟 1階	90																												
廊下天井裏改修工事	校舎棟 1階																													
ピロティスロープ改修工事	校舎棟 1階	80																												
廊下手洗い改修工事	校舎棟 2・3階																													
ホットルーム改修工事	校舎棟 2階	70																												
多目的トイレ新設工事	校舎棟 2階																													
音楽室・通路改修工事	校舎棟 3階	60																												
多目的教室3改修工事	校舎棟 3階																													
廊下改修工事	校舎棟 3階	50																												
美術室・図書室	校舎棟 3階	40																												
校章取替工事	校舎棟 屋上																													
女子・男子・多目的トイレ 改修・新設工事	屋内運動場	30																												
階段改修工事 2階男子卓球部改修工事	屋内運動場																													
金属製建具改修工事 家具改修工事	屋内運動場	20																												
屋根防水改修工事	屋内運動場																													
外壁改修工事	屋内運動場	10																												
アプローチ改修工事 校舎・屋体間スロープ改修工事	外構																													
自転車置場改修・屋体通路改修 銘鈹改修工事	外構																													
電気設備工事	各所	0																												
学 校 行 事 他							7/17 終業式				学校閉校日 8/8～8/16まで				8/28 始業式				9/29 いがまちフォーラム				10/5. 6 中間テスト		10/11 音楽祭		10/16 文化祭		11/11 霊中の集い	

外構 改修部位一覧表					
	階数	場所	改修内容	建築	電気 機械
1	外構	校門・正門	校門の校名プレートの取替	○	
2	外構	自転車置場	車輪止設置	○	
3	外構	アプローチ	グラウンドまでの階段横スロープ設置	○	

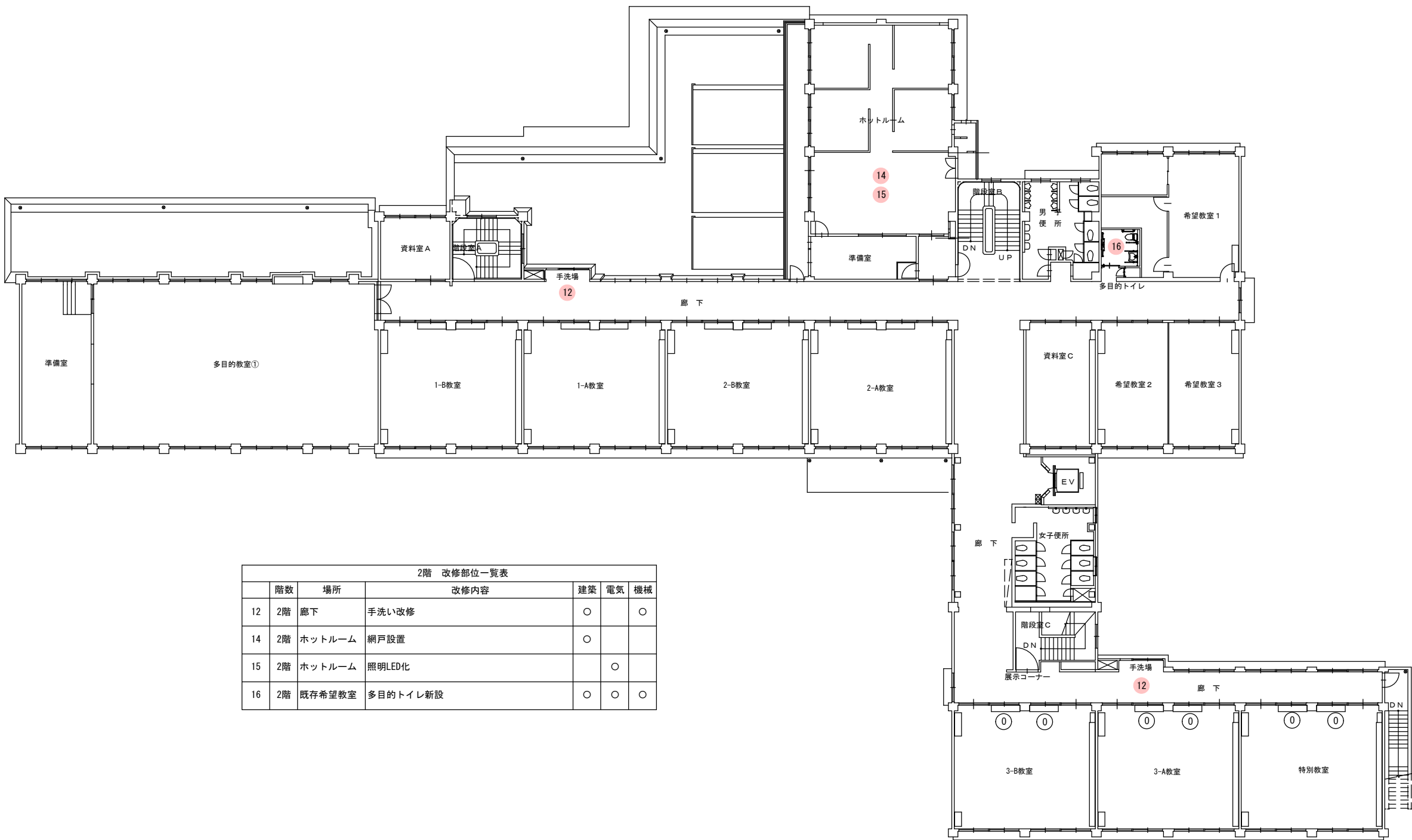
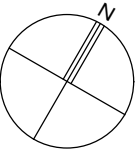
1階 改修部位一覧表					
	階数	場所	改修内容	建築	電気 機械
4	1階	ピロティ	校舎棟前、技術室前にスロープ設置 技術室扉改修	○	
5	1階	ピロティ	外灯照明器具取替え		○
6	1階	会議室	照明LED化(技術室前含む)		○
7	1階	多目的トイレ	大便器取り替え		○
8	1階	保健室	シャワー室ドアの塩ビパネル取替	○	
9	1階	調理室	エアコンの設置 (建築) 点検口3箇所設置 窓枠7mm 杉設置	○	○
10	1階	廊下	防火設備改修	○	
11	1階	調理室	水道蛇口取替		○



1階平面図 S=1/200

令和8年度 霊峰中学校・柘植中学校統合改修工事

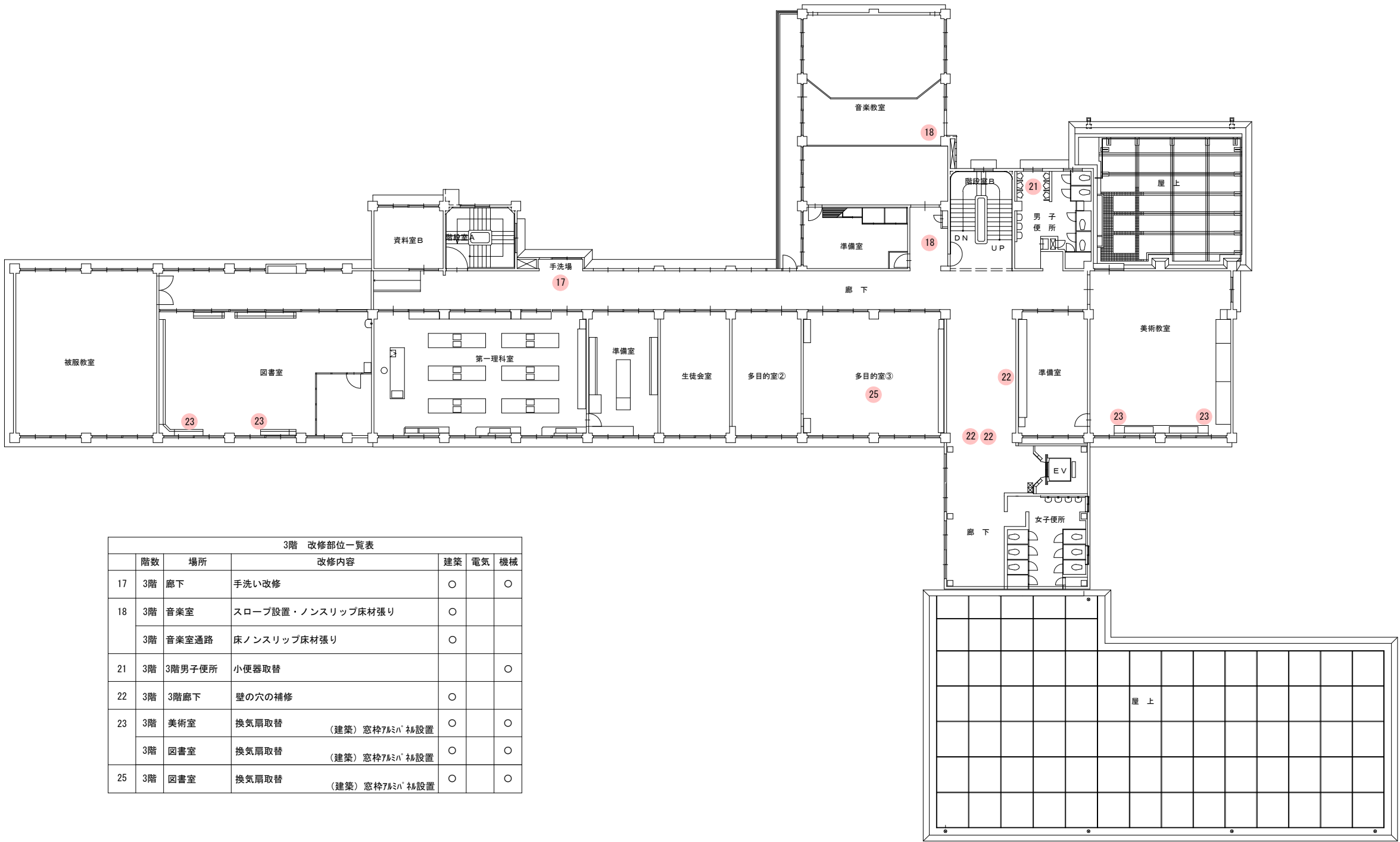
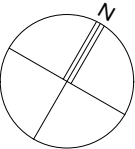
資料1	伊賀市新堂地内		A2版1/200
	校舎棟 1階平面図 【改修後】		A3版1/282
			m/m



2階 改修部位一覧表						
	階数	場所	改修内容	建築	電気	機械
12	2階	廊下	手洗い改修	○		○
14	2階	ホットルーム	網戸設置	○		
15	2階	ホットルーム	照明LED化		○	
16	2階	既存希望教室	多目的トイレ新設	○	○	○

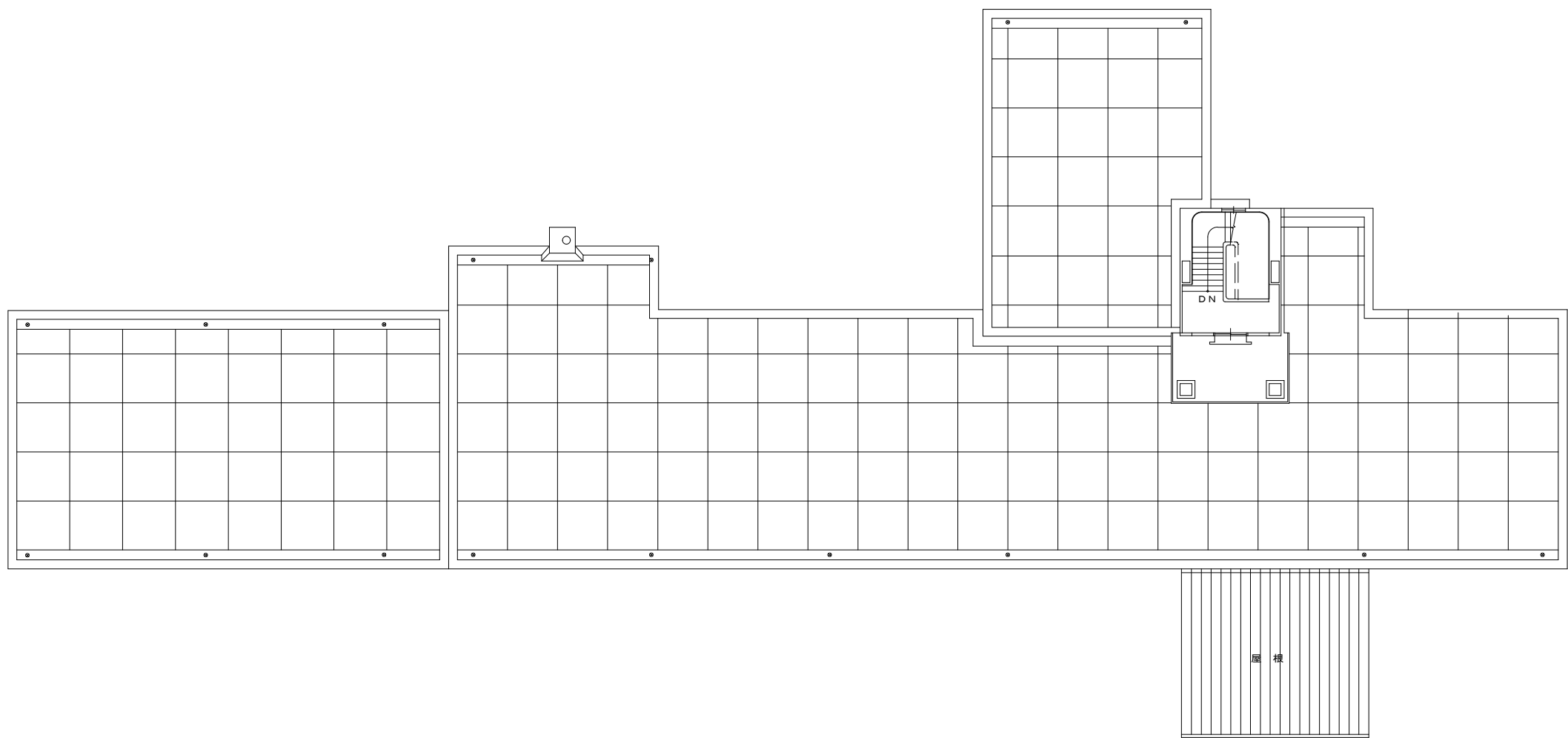
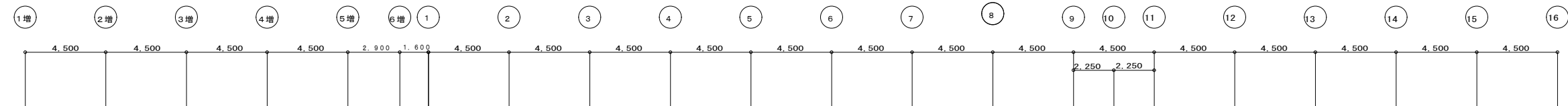
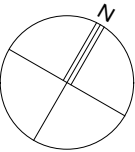
2階平面図 S=1/200

令和8年度 霊峰中学校・柘植中学校統合改修工事			
資料2	No.	伊賀市新堂地内	A2版1/200
		校舎棟 2階平面図 【改修後】	A3版1/282
			m/m

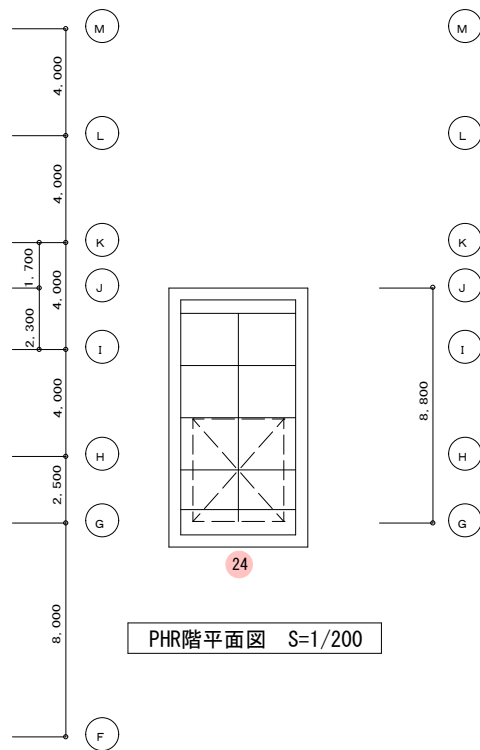


3階 改修部位一覧表					
	階数	場所	改修内容	建築	電気 機械
17	3階	廊下	手洗い改修	○	○
18	3階	音楽室	スロープ設置・ノンスリップ床材張り	○	
	3階	音楽室通路	床ノンスリップ床材張り	○	
21	3階	3階男子便所	小便器取替		○
22	3階	3階廊下	壁の穴の補修	○	
23	3階	美術室	換気扇取替 (建築)窓枠7mmハ 柵設置	○	○
	3階	図書室	換気扇取替 (建築)窓枠7mmハ 柵設置	○	○
25	3階	図書室	換気扇取替 (建築)窓枠7mmハ 柵設置	○	○

3階平面図 S=1/200



R階平面図 S=1/200



PHR階平面図 S=1/200

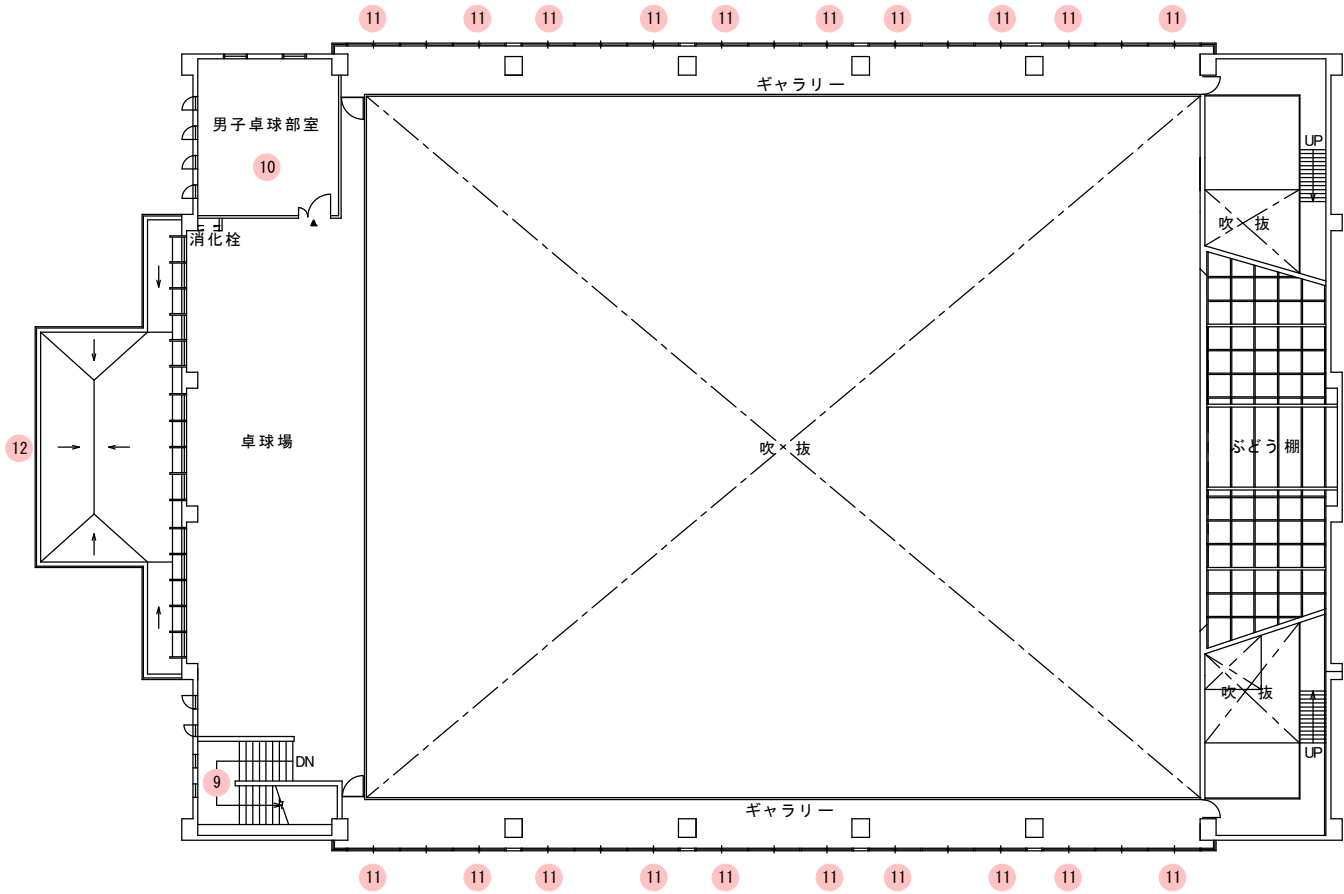
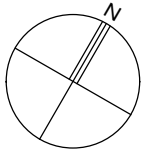
屋上 改修部位一覧表					
	階数	場所	改修内容	建築	電気 機械
24	外部	棟屋	校章取替	○	

令和8年度 霊峰中学校・柘植中学校統合改修工事			
資料4	No.	伊賀市新堂地内	A2版1/200 A3版1/282
		校舎棟 R階平面図 【改修後】	m/m



1階平面図 S=1/200

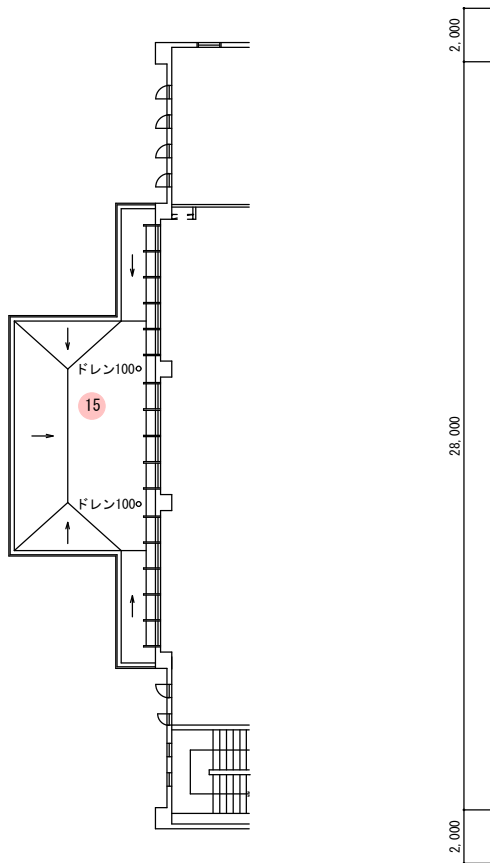
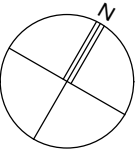
2階 改修部位一覧表						
	階数	場所	改修内容	建築	電気	機械
9	屋体	階段	床材補修、ノンスリップ補修	○		
10	屋体 2階	男子卓球部室	天井張替、照明器具脱着	○	○	
11	屋体 2階	ギャラリー 上部	換気扇の網の取付	○		
12	屋体 外部	玄関庇	館名ボックス文字取替	○		



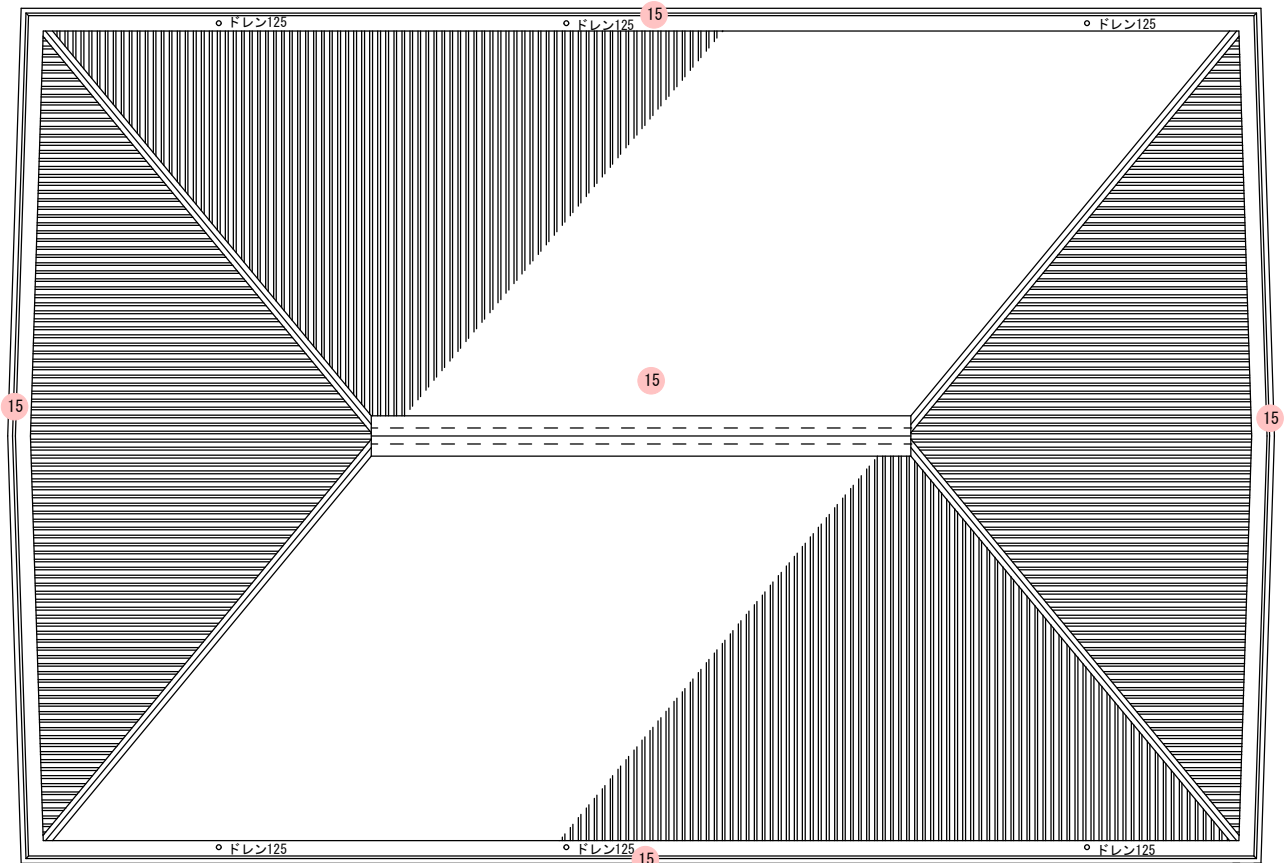
2階平面図 S=1/200

令和8年度 霊峰中学校・柘植中学校 統合改修工事			
資料6	No.	伊賀市新堂地内	A2版1/200
	屋内運動場 2階平面図 【改修後】		A3版1/282
			m/m

改修部位一覧表						
	階数	場所	改修内容	建築	電気	機械
14	屋体	外壁	外壁クラック補修、塗装、サッシコーキング	○		
15	屋体	大屋根	鋼板屋根の防水塗装	○		
	屋体	大屋根樋	塗膜防水改修	○		
	屋体	下屋	既存アスファルト防水の上、塗膜防水改修	○		



下屋伏図 S=1/200



屋根伏図 S=1/200

令和8年度 霊峰中学校・柘植中学校統合改修工事			
資料7	No.	伊賀市新堂地内	A2版1/200
		屋内運動場 屋根伏図 【改修後】	A3版1/282
			m/m

